

中学生職場体験「登録団体の取材」

平成 27 年 1 月 15 日

毎年・恒例の中学生職場体験がありました。
今回、体験者は愛川東中学校の I さんでした。
今までのサポセン内の体験でなく、外に出て登録団体の取材に「あシボ」と「春日台タウンカフェ」さんを訪問してきました。

「あシボ」

文化会館にて展示会を行っており、遠藤会長にお話を伺ってきました。

現在メンバーは 29 名、色々な職場から集まり、皆さんの趣味も多種多様にわたり、まとめるのに一苦労と思われま

す。しかし、会長がほがらかのためか、メンバーが積極的に物事を進めると言う。

男性だけの会員は、機械、電気系統が大好き、そのためか、この前の東北大震災においても、何回かボランティアにて、被災地の老人ホーム等にうかがい、車椅子の修理に行っている。会長の信条は、「メンバーが健康で生きがいを感じて頂ければ」と考えている。

そのため、一人暮らしの老人宅の草むしり、自転車、車椅子の修理から、時には息抜きに近隣のピクニックを開催すると言う。

「悩みは、メンバーの高齢化と仕事のマンネリ化」だという。



「春日台タウンカフェ」

場所は春日台児童館の隣です。店主の中川さんと三井さんにお会いしてきました。

春日台は昭和 40 年、50 年に建てられた家が多く、現在は大半が高齢者だと言う。そこで中川さん自ら地域の行事や自治会に積極的に参加し地域民との交流を図り活性化を目指し、「安心して暮らせる街」に努力しているそうです。

更に中川さんは、近くに知的障害者、身体障害者のホームを管理しており、この子たちもカフェの手伝いをしてくれると言う。

このカフェは「子育てサロン」や若い奥さん方の「井戸端会議所」でもある。中川さんは安くて長くいられる場所を提供したいと言う。

大勢の方が気楽にしゃべれて、くつろげていただければ、それにこしたことはないと言っていました。



「体験者 I さんの感想」

僕は今回の取材で、ボランティア団体の遠藤さんと三井さんから、お話を伺うことができました。遠藤さんは仕事の代わりにするものを探していて、団体を作ったそうです。三井さんは障害を持った方々のために団体を作ったそうです。お二人とも明確な目的を持って行動していて、すごいと思いました。自分はまだ学校に行き、勉強して、部活をこなすだけで精一杯なので、将来はちゃんと目的を持って行動できる人になりたいと思いました。それでは、遠藤さんと三井さん、これからも頑張ってください。お二人を手本にして、僕も頑張りたいと思っています。